



あくていぶ21 青木 啓文 議員

- ①プライマリーバランス(※)について
- ②市の社会保障施策の考え方について
- ③地域の実態を踏まえた施策の推進について

質問① プライマリーバランスを踏まえてどのような市政運営を展開していくのか。

答弁① プライマリーバランスが赤字となることは、そのツケを将来の世代に回し、健全な財政運営であるとはいえない。今後も可能な限りプライマリーバランスの黒字を維持すべく市政運営を推進したい。

質問② 鈴鹿市はどのような視点にたって高齢者施策を考えていくのか。

答弁② 本市の介護保険事業は、鈴鹿亀山地区広

※プライマリーバランス…財政の基礎的収支

域連合が作成した第3期介護保険事業計画に基づき運営されている。また、長寿社会にふさわしい高齢者のための保健福祉施策を実現するため、市高齢者保健福祉計画が策定され、この2つの計画をもとに、一体的なサービス提供に取り組むことが重要と考える。

質問③ 子育て支援については鈴鹿市独自の子育てネットワークを官民で構築すべきでは。

答弁③ 各施設等の現状報告や課題、事業計画の把握等、円滑な運営を図るため、連絡調整会議を年4回開催し、サービス情報の共有化、情報提供方法の検討、利用者への援助方法のあり方等情報交換を行っている。地域に密着した鈴鹿らしい子育てネットワークについては、今後の課題として検討したい。



政友会 市川 哲夫 議員

- ①南部地域の開発状況について
- ②伊勢線の安全管理
- ③国民年金に対する市の対応

質問① 企業誘致の実態と今後の取り組みについて、排水問題や地域コンセンサスは。

答弁①(1) 企業の喫緊の要望には、民間所有の土地を紹介している。地域の住民の方が安心して生活できるよう企業と地元との調整的役割を果たしていきたい。

質問①(2) 南部地域の道路網の進捗は。「鈴鹿環状線」徳田町地内の歩道整備は。

答弁①(2) 汲川原橋徳田線は、亀山鈴鹿線交差点から中勢バイパスまでの区間で、4車線化に着手する準備

をしている。「磯山バイパス」は、事業費ベースで約43パーセントの進捗、三行庄野線は約40パーセントの進捗である。歩道整備は、将来バイパス整備の中で設置したい。

質問②(1) 鉄筋が腐食し、破片が落下し危険な箇所がある。伊勢鉄道株は、箇所を把握し点検しているのか。

答弁②(1) 定期的に点検を実施し、補修等している。

質問②(2) 危険な箇所への対応は。

答弁②(2) 高架部分等の老朽化により補修が必要な箇所を抜本的に改修するという回答を得ている。

質問③ 基礎年金番号未統合の処理に対する対応。

答弁③ 年金手帳を持参の場合は、基礎年金番号に統合されているかの確認を行い、統合されていない場合には、手続きを行っている。



公明党 池上 茂樹 議員

- ①障害者支援について
 - (1)特別支援学校の設立について
 - (2)公共施設の障害者への配慮は
- ②子育て支援策について
 - (1)はしか対策・予防接種を公費で
 - (2)多胎児に入学祝い金を

質問①(1) 杉の子特別支援学校を複数の障害に対応できるようにすべきでは。特別支援学校の設立、高等部の設立を一刻も早くできないか。利便性を考えたスクールバスの運行は。

答弁①(1) 杉の子特別支援学校の受け入れ拡大、高等部の設置、スクールバスの運行等、知事、県教育長に強く要望していく。

質問①(2) 市民プールは障害者の利用が可能か。障害者用トイレがあるのか。更衣室の整備は。

答弁①(2) 今後は、障害者の方の利用状況を踏まえ、利用しやすい施設となるよう検討していく。

質問②(1) はしか予防接種が1回だった期間、現小学2年生以上に公費での接種ができないか。ワクチンの金額と今後市としてのワクチン接種の啓発は。

答弁②(1) 公費援助の問題は、任意接種とし自己負担とさせていただいている。ワクチンの金額は、7,400円で今後広報とケーブルテレビで啓発を行う。

質問②(2) 多胎児は入学時に2倍や3倍のお金が掛かるため、入学祝い金を考えては。

答弁②(2) 少子社会での子育て支援は非常に重要な施策で、入学時の多胎児の方の支援は検討したい。